

現在検討中の「新産業構造ビジョン」骨子（案）

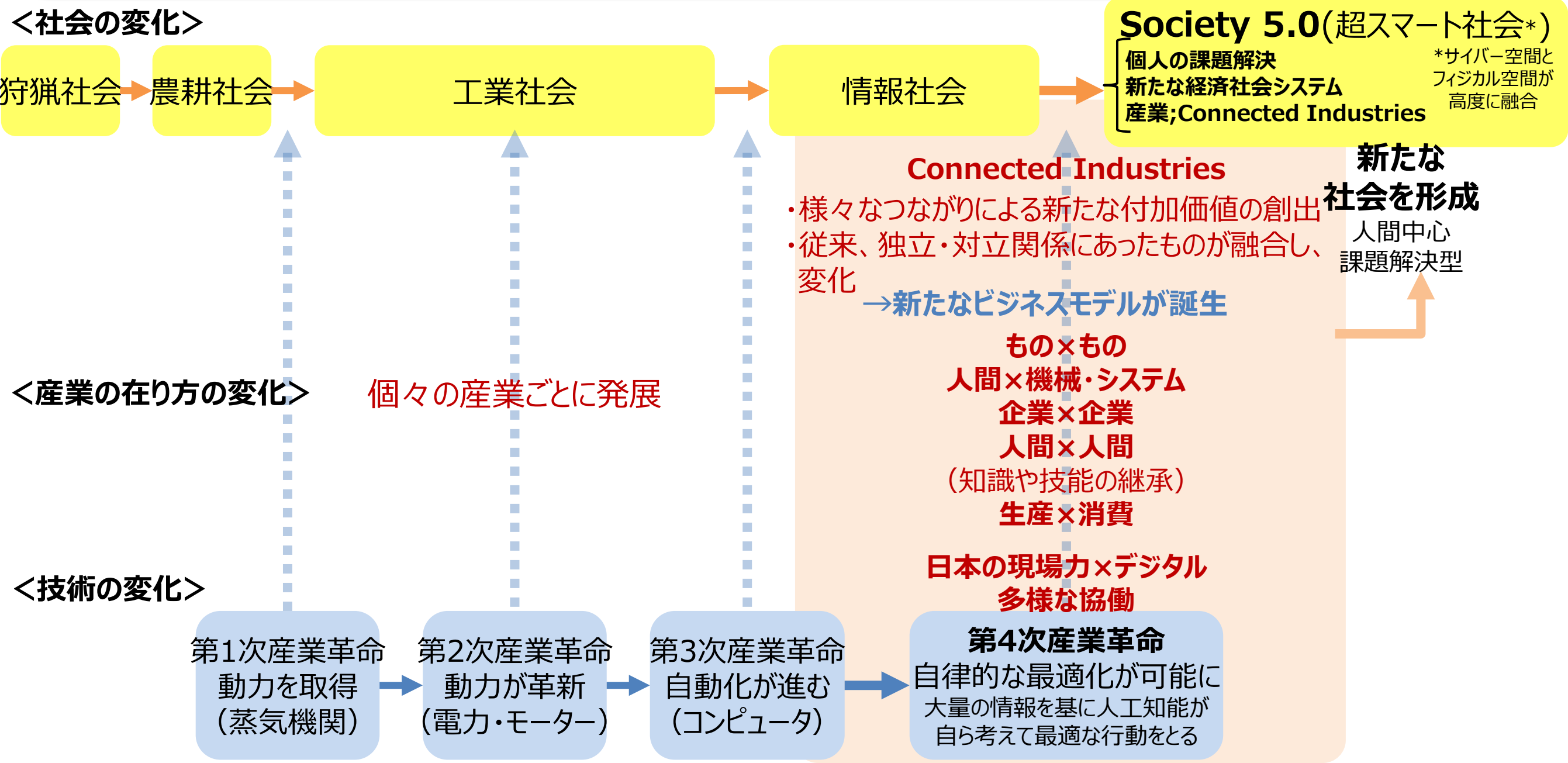
資料 3

➤ 2030年代に向けて、第4次産業革命の新技术（データ・人工知能・ロボット等）を活かした新たな「システム」を構築することにより、世界の課題解決と日本の経済成長に繋げる。1人1人にとって、より豊かな社会を実現する。

➤ AI等の技術革新・データ利活用により、従来対応できなかった「社会的・構造的課題＝個人の真のニーズ」に対応可能に

➤ 日本の強みを活かし、第2幕（リアルデータ）で、日本にイノベーションを生み出す「リアルデータプラットフォーム」を創出
我が国の強み：①リアルデータの取得・活用可能性、②日本のモノの強さ＝先進技術を現場にいち早く取り込むことで、刷新し続ける力、③グローバルに見た社会課題の先進性・大きさ

⇒ I :モノの強みを活かしたアプローチ、II :課題解決のためのアプローチ ⇒グローバル展開



新たなアプローチ：目標逆算ロードマップ⇒突破口プロジェクト⇒制度化

戦略分野①安全に移動する（ヒトの移動、モノの移動）

【将来像】

- ✓ 交通事故死亡者4117人(国内)、125万人(世界)→限りなくゼロ ※運転手起因の事故
- ✓ 免許非保有者約4000万人、最寄りバス停・鉄道駅から1km圏外に居住236万人→移動困難を限りなく解消

等

【目標逆算ロードマップ（主なマイルストーン）】例：ヒトの移動（自動走行）

時期	短期（～2018年）	中期（～2020年）	長期（2020年～）
目標		無人自動走行による移動サービス等の実現 高速道路での後続無人隊列走行の実現	サービス地域の拡大/無人自動走行車の市場化 高速道路での後続隊列走行の事業化

【突破口プロジェクト】

- ✓ 日立市、永平寺町、輪島市、北谷町での自動走行PJ
- ✓ 東京オリパラでの自動走行PJ
- ✓ 新東名での隊列走行PJ
- ✓ ダイナミックマップ構築
- ✓ 福島浜通りにおけるドローン物流用運航管理システムの開発（NEC、日立、楽天 等）

戦略分野②スマートに生み出す・手に入れる（消費者ニーズの把握、スマートサプライチェーン、工程の効率化・高度化）

【将来像】

- ✓ 労働生産性の伸び率:継続的に、製造業2%、サービス業2%を上回る労働生産性伸び率の向上
- ✓ 温室効果ガス排出の削減:2030年度に2013年度比▲26%

等

【目標逆算ロードマップ（主なマイルストーン）】例：スマートサプライチェーン

時期	短期（～2018年）	中期（～2020年）	長期（2020年～）
目標		工場や企業の枠を超えてサプライチェーン全体に係るデータを共有・活用する先進システムを構築	グローバルに最適化されたサプライチェーンの構築/「現場カイゼンモデル」等の国際標準化

【突破口プロジェクト】

- ✓ 全国50箇所で、データ連携の先進PJ(日立、カブク等)
- ✓ 福島ロボットテストフィールド/ワールドロボットサミット2020
- ✓ 情報銀行、データ取引所の創設
- ✓ リアルデータプラットフォーム構築（ものづくり、スマート保安、農業、バイオ等）

戦略分野③健康を維持する・生涯活躍する（健康・医療・介護）

【将来像】

- ✓ 平均寿命と健康寿命の差を現在の10歳から大幅減
- ✓ 要介護者数816万人（2035年時点推計）を大幅減

等

【目標逆算ロードマップ（主なマイルストーン）】例：健康・医療・介護

時期	短期（～2018年）	中期（～2020年）	長期（2020年～）
目標		予防・健康管理と自立支援に軸足を移す新たな医療・介護システム構築(健康寿命1歳以上延伸等)	左記の新たな医療・介護システムの国民生活への定着(介護離職ゼロの実現等)

【突破口プロジェクト】

- ✓ PHR構築PJ(西宮市等)
- ✓ AIによる介護ケアプラン開発(セントケアHD、INCJによる出資)
- ✓ 実証事業(みずほFG、名古屋大学、医師会等)を踏まえた生活習慣病改善IoTサービス研究開発PJ
- ✓ 南相馬市における遠隔診療PJ
- ✓ 自立支援型ロボの開発PJ

戦略分野④スマートに暮らす（「新たな街づくり、シェアリング、Fintech）

【将来像】

- ✓ 住民満足度・地域の活力向上（公共データのオープン化等による住民のための利活用）
- ✓ 安全・安心な街（災害による死傷者数半減*、犯罪率減少） *首都直下型地震による想定死傷者数2万3千人（2025年時点推計）から半減

等

【目標逆算ロードマップ（主なマイルストーン）】例：「新たな街」づくり

時期	短期（～2018年）	中期（～2020年）	長期（2020年～）
目標		公共データの民間開放による新たなビジネス創出、社会課題の解決/住民満足度・地域活力向上	左記の取組みを更に加速、全国レベルに展開

【突破口プロジェクト】

- ✓ 官民データ利活用推進基本法に基づく、基本計画策定(国、自治体)
- ✓ 札幌市、会津若松市、福岡市等における、データを活用した「新たな街」づくりに向けたPJ（公共交通、防災インフラ、治安向上、エネルギー、観光、農業、ヘルスケアサービス）
- ✓ 移動サービスの高度化

新たな経済社会システム構築に向けた横断的施策（案）

ルールの高度化

【データ】

- データの利活用を促進するための制度整備
⇒域外流通における原則自由を維持
⇒域内でのデータ利活用促進のための制度整備、
具体的なプロジェクトの創出支援
⇒サイバーセキュリティの強化
- 戦略分野のリアルデータプラットフォームの構築
⇐協調領域と競争領域の切り分け

【知財・標準】

- 新たなオープンクローズ戦略を支える知財・標準ルール
⇒データ保護に向けた知財制度整備(不正利用禁止等)
⇒ADR制度（標準必須特許裁定）の創設
⇒工業標準化法の対象範囲拡大
⇒国際標準獲得に向けた体制強化

【規制制度改革】

- 日本版レギュラトリーサンドボックスの導入検討

経済の新陳代謝システム

【ガバナンス/資金/産業再編】

- 中長期的な企業価値向上や円滑な産業構造・就業構造
転換に資する制度整備(データ、ヒト、モノ・技術、カネ等)
⇒コーポレートガバナンスの強化
⇒イノベーション創出に向けたリスクマネー強化 等

人材育成・活用システム

【人材投資・人材育成の抜本拡充】

- 能力・スキルを自ら継続的にアップデートする人材の育成
⇒基礎力として、ITリテラシーの標準装備
⇒IT人材の能力・スキル転換、未踏IT人材の発掘・育成

【柔軟かつ多様な働き方の実現】

- 旧来の「日本型雇用システム」の見直し
- 兼業副業/雇用関係によらない働き方/ダイバーシティ2.0

【IT/データによる働き方改革の加速化】

イノベーションエコシステム

【Center of Excellence】

- 世界トップの技術・知見の集約（CoEの構築）

【産学連携・大学改革】

- 産学連携・大学改革によるオープンイノベーション

【ベンチャー】

- 好循環を生み出すベンチャーエコシステムの構築

社会保障システム

- 個別化された社会保障
- 公的保障と自助の組合せ
- セーフティネットの強化

地域経済・中小企業システム

- 第4次産業革命の地域・中小企業への拡大
⇒地域経済を牽引する事業の促進

グローバル展開

⇒これを実現するための政策（法制度、予算、税制等）は政府全体の成長戦略、経済産業省の新政策において具体化